

青果物



大分県 ブランドおおいた輸出促進協議会 『梨、養殖ブリ等を香港、台湾、タイ等へ』

【主な品目】

梨、養殖ブリ、木材、牛肉、乾しいたけ

【主な輸出先国・地域】

香港、台湾、タイ、シンガポール

【輸出取組の概要】

◆協議会は農産部会、水産部会、林産部会、畜産部会で構成され、品目ごとに関係機関が一体となり、各国における商談会への参加、試食販売活動の実施、輸入業者等の招へい等を実施し、輸出拡大に取り組んでいる。

【輸出実績】

	輸出額(千円)	輸出量(t)	出荷時期
平成26年度	1,507,455	品目ごとに単位が異なるため、記載不可	通年
平成25年度	983,831		

【取り組む際に生じた課題】

- ・梨を台湾に輸出する際に日本と異なる残留農薬基準
- ・EU向けに養殖ブリを輸出する際に必要なHACCP認証
- ・牛肉を海外に輸出する際にと畜加工施設の海外機関による認証

【生じた課題への対応方法】

- ・台湾の残留農薬基準の調査及び梨栽培方法の確立と生産者間での栽培実践
- ・EU向けHACCPの認証基準施設へ改修し、HACCP認証を受理

【取組の効果】

- ・梨では、国内での大玉販売が厳しい中、中秋節、春節の贈答用として海外での販路を開拓し、販売の安定化に寄与。
- ・梨の手法を参考に各品目も輸出に取り組み、県産農林水産物の輸出拡大が図られている。

【今後の展望】

- ・乾しいたけ、養殖ブリについてEU向けの輸出開拓を行うなど、「新規品目の拡大」「新規輸出国の拡大」に取り組んでいく。
- ・他県と連携したフェアの開催などを通じてオールジャパンによる輸出体制構築に寄与する。



現地スーパーでの試食販売の様子



現地バイヤーを招へいた産地での商談

【活用した施策・支援】 平成26年度輸出に取り組む事業者向け対策事業

【ウェブサイト】 <http://the.oita.com>

【連絡先】 担当者名: 鹿島和之、TEL: 097-506-3627